

赤外線熱電対用受信計器 FCR-13A CUL US



- ・ ファジィセルフチューニング PID 制御
  - ・ マルチレンジ、マルチファンクション
  - ・ 簡易プログラム機能
  - ・ 入力サンプリング周期: 0.125 秒、精度:  $\pm 0.2\% \text{FS} \pm 1$  デジット以内
  - ・ UL 規格品

## 形 名

F C R - 1 3			A - □ / I , □□□□	FCR-13A(W48×H96mm)
制御動作	3			PID(種類は選択可能)
警報 1 出力(A1)	A			マルチ動作方式(種類は選択可能)
制御出力(OUT1)	R			リレー接点 : 1a 3A 250V AC (抵抗負荷), 1A 250V AC(誘導負荷 $\cos\phi=0.4$ )
	S			無接点電圧(SSR 駆動用) : $12_0^{+2}$ V DC 最大 40mA(短絡保護回路付)
	A			直流電流 : 4~20mA DC 負荷抵抗: 最大 550Ω
入力	I			赤外線熱電対: RD-300 シリーズ(180~250°C レンジ), RD-401(180~250°C レンジ)
オプション	A2			警報 2 出力(A2)(種類は選択可能)
	DR			リレー接点 : 1a 3A 250V AC (抵抗負荷), 1A 250V AC(誘導負荷 $\cos\phi=0.4$ )
	DS			無接点電圧(SSR 駆動用) : $12_0^{+2}$ V DC 最大 40mA
	DA			直流電流 : 4~20mA DC 負荷抵抗: 最大 550Ω
	TA			4~20mA DC 負荷抵抗: 最大 500Ω
	TV			0~1V DC 負荷抵抗: 最小 100kΩ
	C			RS-232C 準拠
	C5			RS-485 準拠
	SM			設定値メモリ番号外部選択
EA(0-20)	0~20mA DC			外部設定
	4~20mA DC			
	0~1V DC			
	1~5V DC			
W(20A)	定格電流: 単相 20A		リレー接点 1a 3A 250V AC(抵抗負荷) 1A 250V AC(誘導負荷 $\cos\phi=0.4$ )	ヒータ断線警報(CT 付属)
W(50A)	定格電流: 単相 50A			
W3(20A)	定格電流: 単相 20A			
W3(50A)	定格電流: 単相 50A			
LA	ループ異常警報			
IP	防塵防滴(IP54)(* )			
TC	端子カバー			
BK	外観色 黒			
BI	ねじ式取り付け金具			

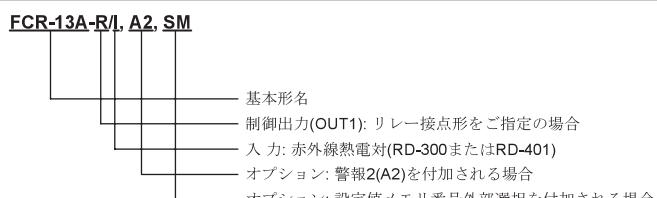
□部の仕様を枠内からいざれかご指定ください。オプションを付加される場合はコンマ「,」で区切って記入してください。

(\*): オプション[IP]を付加した場合、取付金具はねじ式取付金具(オプション: BL)となります。

定格目盛

入力の種類	目 盛
RD-300 シリーズまたは RD-401	-50~ 50°C -50~1000°F

ご注文例



標準什樣

表示器	PV----- 赤色 4桁 数字寸法: 8×4mm(高さ×巾)
	SV/MV/TIME--- 緑色 4桁 数字寸法: 8×4mm(高さ×巾)
	MEMO----- 黄色 1桁 数字寸法: 8×4mm(高さ×巾)
入力	赤外線熱電対--- RD-300 シリーズ(180~250°C レンジ)または RD-401(180~250°C レンジ)
	目盛----- 定格目盛の項参照
	分解能----- 1°C(1°F)
精度(設定・指示)	±0.2%FS±1 デジット以内
入力サンプリング周期	0.125 秒(ただし、ヒータ断線警報または外部設定を付加した場合、0.5 秒)

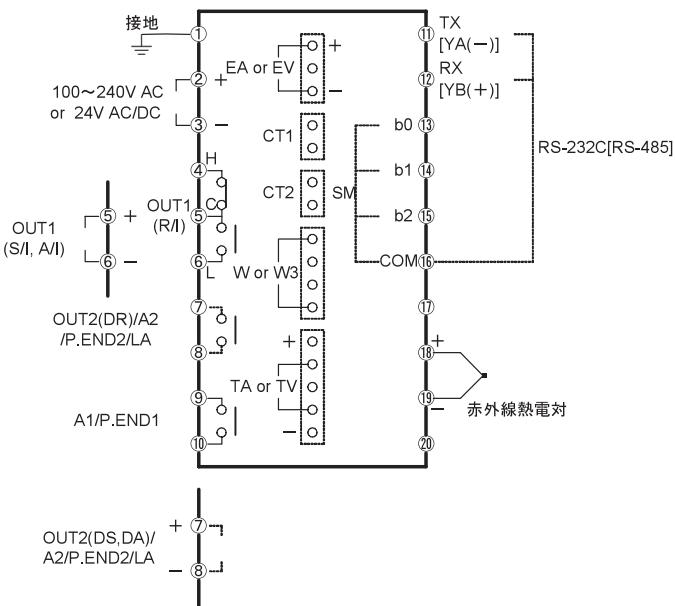
制御動作	計器内部のスイッチで選択可能です。
	・ファジィセルフチューニング PID
	P, I, D-----自動設定
	比例周期-----1~120 秒(直流電流出力形はなし)
	ARW-----自動設定
	・PID(オートチューニング機能付)
	比例帯(P)-----0.1~999.9%
	積分時間(I)-----0~3600 秒(0 のとき積分動作なし)
	微分時間(D)-----0~3600 秒(0 のとき微分動作なし)
	比例周期-----1~120 秒(直流電流出力形はなし)
制御出力(OUT1)	ARW-----自動設定
	・PD(オートリセット機能付)
	比例帯(P)-----0.1~999.9%
	微分時間(D)-----0~3600 秒(0 のとき微分動作なし)
	比例周期-----1~120 秒(直流電流出力形はなし)
	手動リセット値---±比例帯換算値
	・ON/OFF 動作
	動作すきま-----0.1~100.0°C(F)
	いずれか指定
	・リレー接点---1a1b 3A 250V AC(抵抗負荷), 1A 250V AC(誘導負荷 $\cos\phi=0.4$ )
警報 1 出力(A1)	・無接点電圧---12 <sub>0</sub> <sup>+2</sup> V DC 最大 40mA(短絡保護回路付)
	・直流電流---4~20mA DC 負荷抵抗: 最大 550Ω
	出力動作の選択は、計器の内部スイッチで選択可能、励磁/非励磁の選択は、キー操作で選択可能です。[工場出荷時: 動作なし]
	・上限動作 (偏差設定) 設定範囲: ±入力スパン(0 に設定すると動作しない)
	・下限動作 (偏差設定) 設定範囲: ±入力スパン(0 に設定すると動作しない)
	・上下限動作 (偏差設定) 設定範囲: 0~入力スパン(0 に設定すると動作しない)
	・上下限範囲動作 (偏差設定) 設定範囲: 0~入力スパン(0 に設定すると動作しない)
	・絶対値上限動作 設定範囲: 入力レンジ最小値~入力レンジ最大値
	・絶対値下限動作 設定範囲: 入力レンジ最小値~入力レンジ最大値
	待機機能-----計器内部のスイッチで選択可能
赤外線放射率補正範囲	警報動作遅延タイマー---指定可能(設定範囲: 0~9999 秒)
	設定精度-----±0.2%FS±1 デジット以内
	動作-----ON/OFF 動作
	動作すきま-----0.1~100.0°C(F)
	出力-----リレー接点 1a 3A 250V AC(抵抗負荷), 1A 250V AC(誘導負荷 $\cos\phi=0.4$ )
	0.100~1.000
	いずれか指定
	・100~240V AC 50/60Hz
	・24V AC/DC 50/60Hz
	許容電圧変動範囲: 85~264V AC 20~28V AC/DC
消費電力	約 15VA
絶縁抵抗	出力が直流電流出力形または無接点電圧出力形の場合、各入出力端子間、通信端子間、設定値メモリ端子間では絶縁抵抗測定不可 その他の組み合わせは、500V DC 10MΩ以上
耐電圧	入力端子一接地端子間、入力端子一電源端子間---1.5kV AC 1 分間 電源端子一接地端子間-----1.5kV AC 1 分間 出力端子一接地端子間、出力端子一電源端子間---1.5kV AC 1 分間
環境	周囲温度: 0~50°C 周囲湿度: 35~85%RH(結露不可)
材質・色	材質: 難燃性樹脂 色: ライトグレー
取り付け方式	制御盤埋込方式 取り付け金具: ワンタッチ式 取り付け可能なパネルの厚さ: 1~3mm
設定方式	シートキー入力
質量	約 320g
付属機能	制御出力オフ、設定値ロック、設定値リミット、センサ補正、警報動作遅延タイマー、マルチファンクション、簡易プログラムコントローラ、設定値メモリ、停電対策、自己診断、自動冷接点温度補償、ウォームアップ表示、設定値ランプ

## オプション

警報 2 出力[A2]	出力動作の選択は、計器の内部スイッチで選択可能、励磁/非励磁の選択は、キー操作で選択可能です。[工場出荷時: 動作なし]
	・上限動作 (偏差設定) 設定範囲: ±入力スパン(0 に設定すると動作しない)
	・下限動作 (偏差設定) 設定範囲: ±入力スパン(0 に設定すると動作しない)
	・上下限動作 (偏差設定) 設定範囲: 0~入力スパン(0 に設定すると動作しない)
	・上下限範囲動作 (偏差設定) 設定範囲: 0~入力スパン(0 に設定すると動作しない)
	・絶対値上限動作 設定範囲: 入力レンジ最小値~入力レンジ最大値
	・絶対値下限動作 設定範囲: 入力レンジ最小値~入力レンジ最大値
	待機機能-----計器内部のスイッチで選択可能
	警報動作遅延タイマー---指定可能(設定範囲: 0~9999 秒)
	設定精度-----±0.2%FS±1 デジット以内
赤外線放射率補正範囲	動作-----ON/OFF 動作
	動作すきま-----0.1~100.0°C(F)
	出力-----リレー接点 1a 3A 250V AC(抵抗負荷), 1A 250V AC(誘導負荷 $\cos\phi=0.4$ )
	0.100~1.000
	いずれか指定
	・100~240V AC 50/60Hz
	・24V AC/DC 50/60Hz
	許容電圧変動範囲: 85~264V AC 20~28V AC/DC
	約 15VA
	出力が直流電流出力形または無接点電圧出力形の場合、各入出力端子間、通信端子間、設定値メモリ端子間では絶縁抵抗測定不可 その他の組み合わせは、500V DC 10MΩ以上
警報 1 出力(A1)	入力端子一接地端子間、入力端子一電源端子間---1.5kV AC 1 分間 電源端子一接地端子間-----1.5kV AC 1 分間 出力端子一接地端子間、出力端子一電源端子間---1.5kV AC 1 分間
	周囲温度: 0~50°C 周囲湿度: 35~85%RH(結露不可)
	材質: 難燃性樹脂 色: ライトグレー
	制御盤埋込方式 取り付け金具: ワンタッチ式 取り付け可能なパネルの厚さ: 1~3mm
	シートキー入力
	約 320g
	制御出力オフ、設定値ロック、設定値リミット、センサ補正、警報動作遅延タイマー、マルチファンクション、簡易プログラムコントローラ、設定値メモリ、停電対策、自己診断、自動冷接点温度補償、ウォームアップ表示、設定値ランプ
	0.100~1.000
	いずれか指定
	・100~240V AC 50/60Hz
制御動作	・24V AC/DC 50/60Hz
	許容電圧変動範囲: 85~264V AC 20~28V AC/DC
	約 15VA
	出力が直流電流出力形または無接点電圧出力形の場合、各入出力端子間、通信端子間、設定値メモリ端子間では絶縁抵抗測定不可 その他の組み合わせは、500V DC 10MΩ以上
	入力端子一接地端子間、入力端子一電源端子間---1.5kV AC 1 分間 電源端子一接地端子間-----1.5kV AC 1 分間 出力端子一接地端子間、出力端子一電源端子間---1.5kV AC 1 分間
	周囲温度: 0~50°C 周囲湿度: 35~85%RH(結露不可)
	材質: 難燃性樹脂 色: ライトグレー
	制御盤埋込方式 取り付け金具: ワンタッチ式 取り付け可能なパネルの厚さ: 1~3mm
	シートキー入力
	約 320g
電源電圧	制御出力オフ、設定値ロック、設定値リミット、センサ補正、警報動作遅延タイマー、マルチファンクション、簡易プログラムコントローラ、設定値メモリ、停電対策、自己診断、自動冷接点温度補償、ウォームアップ表示、設定値ランプ
	0.100~1.000
	いずれか指定
	・100~240V AC 50/60Hz
	・24V AC/DC 50/60Hz
	許容電圧変動範囲: 85~264V AC 20~28V AC/DC
	約 15VA
	出力が直流電流出力形または無接点電圧出力形の場合、各入出力端子間、通信端子間、設定値メモリ端子間では絶縁抵抗測定不可 その他の組み合わせは、500V DC 10MΩ以上
	入力端子一接地端子間、入力端子一電源端子間---1.5kV AC 1 分間 電源端子一接地端子間-----1.5kV AC 1 分間 出力端子一接地端子間、出力端子一電源端子間---1.5kV AC 1 分間
	周囲温度: 0~50°C 周囲湿度: 35~85%RH(結露不可)

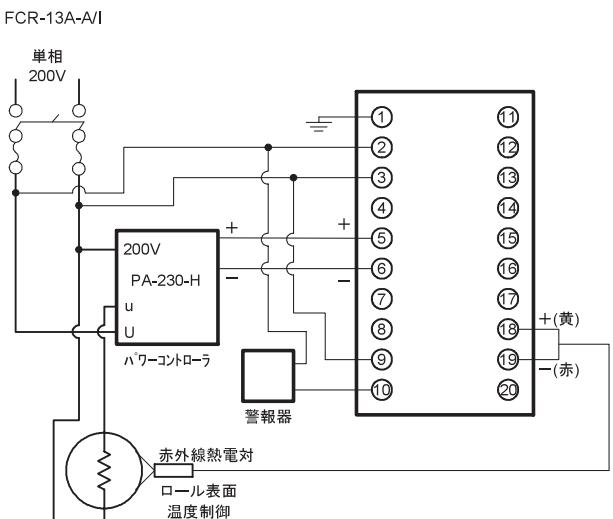
	<p>加熱側: 制御出力(OUT1)と同じ 冷却側:</p> <p><b>PID 制御</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>比例帯(P)----- 制御出力(OUT1)比例帯の 0.0~10.0 倍(0.0 のとき ON/OFF動作)</li> <li>積分時間(I)----- 制御出力(OUT1)の積分時間設定値と同じです。</li> <li>微分時間(D)----- 制御出力(OUT1)の微分時間設定値と同じです。</li> <li>比例周期----- 1~120 秒(直流電流出力形はなし)</li> <li>オーバラップ/デッドバンド----- 制御出力(OUT1)比例帯の±0~100%</li> </ul> <p><b>ON/OFF動作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動作すきま----- 0.1~100.0°C(F)</li> </ul> <p>出力(いずれか指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DR----- リレー接点: 1a 3A 250V AC(抵抗負荷), 1A 250V AC(誘導負荷 <math>\cos\phi=0.4</math>)</li> <li>• DS----- 無接点電圧: 12<sub>0</sub><sup>+2</sup> V DC 最大 40mA(短絡保護回路付)</li> <li>• DA----- 直流電流: 4~20mA DC 負荷抵抗: 最大 550Ω</li> </ul> <p>冷却動作モード(いずれかをキー操作で選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 空冷モード: 操作量は比例帯内で直線的に変化</li> <li>• 油冷モード: 操作量は空冷モード時の 1.5 乗倍</li> <li>• 水冷モード: 操作量は空冷モード時の 2 乗倍</li> </ul>
加熱冷却制御出力 制御出力(OUT2)[D□]	<p>現在(PV)伝送、目標値(SV)伝送、出力操作量(MV)伝送のいずれかを 0.125 秒ごとに、アナログ量に変換し電流または電圧で出力します。 伝送するパラメータ---- PV, SV または MV(キー操作で切替) 出力信号の種類(いずれか指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TA---- 4~20mA DC(負荷抵抗: 最大 500Ω)</li> <li>• TV---- 0~1V DC(負荷抵抗: 最小 100kΩ)</li> </ul> <p>出力精度---- ±0.3%FS 以内</p>
伝送出力[TA, TV]	<p>外部コンピュータから操作を行ないます。 通信インターフェース(いずれか指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• C----- EIA RS-232C 準拠</li> <li>• C5----- EIA RS-485 準拠</li> </ul> <p>通信内容----- FCR-13A の各種設定状態の変更、値の読み取り。 使用文字コード----- アスキーコード</p> <p>接続可能台数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• RS-232C--- 1 台(並列接続不可)</li> <li>• RS-485--- ホストコンピュータ 1 台につき最多 31 台</li> </ul> <p>通信速度----- 2400/4800/9600/19200bps キー操作で切替可能[工場出荷時: 9600bps] 通信方式----- 半二重通信 同期方式----- 調歩同期式 通信エラー検出方式--- パリティとチェックサムの二重検出方式</p>
設定値メモリ番号外部選択 [SM]	<p>目標値(SV)、PID 値、制御出力(OUT2)比例帯設定値、警報 1, 2(A1, A2)設定値、オーバラップ/デッドバンド設定値、制御出力(OUT1)上限設定値、制御出力(OUT1)下限設定値、制御出力(OUT2)上限設定値、制御出力(OUT2)下限設定値を 1 ファイルとして 7 ファイルの設定値メモリ番号を外部端子で選択します。 メモリ番号切替方式--- 3 ビットの接点開閉切替</p>
外部設定[EA, EV]	<p>外部アナログ信号を目標値(SV)とします。 設定するパラメータ---- SV 入力信号の種類(いずれか指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• EA(0-20)--- 0~20mA DC</li> <li>• EA(4-20)--- 4~20mA DC</li> <li>• EV(0-1)--- 0~1V DC</li> <li>• EV(1-5)--- 1~5V DC</li> </ul> <p>入力インピーダンス---- 約 50Ω(mA 入力), 約 100kΩ(V 入力)</p>
ヒータ断線警報[W, W3]	<p>ヒータ電流をカレントトランジスタ(CT)で監視し、ヒータ断線を検出します。 ヒータ定格電流(いずれか指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• W(20A)----- 単相用: 20A</li> <li>• W(50A)----- 単相用: 50A</li> <li>• W3(20A)----- 三相用: 20A</li> <li>• W3(50A)----- 三相用: 50A</li> </ul> <p>設定精度----- ヒータ定格電流の±5%以内 出 力----- リレー接点 1a 3A 250V AC(抵抗負荷), 1A 250V AC(誘導負荷 <math>\cos\phi=0.4</math>) 出力自己保持--- なし 付属品----- 単相 CT[形名: CTL-6-S(20A 用)または CTL-12-S36-10L1U(50A 用)](1 個)                   三相 CT[形名: CTL-6-S(20A 用)または CTL-12-S36-10L1U(50A 用)](2 個)</p>
ループ異常警報[L/A]	<p>操作端異常(ヒータ断線、センサ断線)を検出します。 ループ異常警報時間----- 0~200 分 ループ異常警報動作巾--- 0~150°C(F) 出 力----- リレー接点 1a 3A 250V AC(抵抗負荷), 1A 250V AC(誘導負荷 <math>\cos\phi=0.4</math>)</p>
防塵防滴(IP)	<p>防塵防滴仕様(IP54) 防塵防滴仕様を満たすため、調節計は鉛直に取付けてください。取り付け金具はねじ式取り付け金具になっております。 別売品のフロントカバー(ソフトタイプ)を装着すると、防塵防滴仕様をさらに強化できます。</p>
端子カバー[TC]	<p>感電防止用端子カバー (通電中、調節計背面に人が接触する可能性のあるときは、必ずこのオプションをご指定のうえ端子カバーを装着してください。)</p>
外観色 黒[BK]	色: 黒(フェースプレートはダークグレー)
ねじ式取り付け金具[BL]	標準取り付け金具はワンタッチ式ですが、このオプションを付加するとねじ式取り付け金具が付属品になります。 取り付け可能なパネルの厚さ: 1~8mm

## 端子配列



- R/I : リレー接点出力
- S/I : 無接点電圧出力
- A/I : 直流電流出力
- DR, DS, DA : 加熱冷却制御(リレー接点, 無接点電圧, 直流電流)
- A1, A2 : 警報1出力(A1), 警報2出力(A2)
- P.END1, 2 : パターンエンド1, 2出力
- LA : ループ異常警報出力
- RS-232C[RS-485] : シリアル通信
- SM : 設定値メモリ番号外部選択
- EA or EV : 外部設定入力
- CT1, CT2 : CT入力
- W or W3 : ヒータ断線警報出力
- TA or TV : 伝送出力

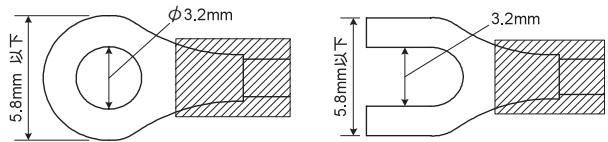
## 結線例



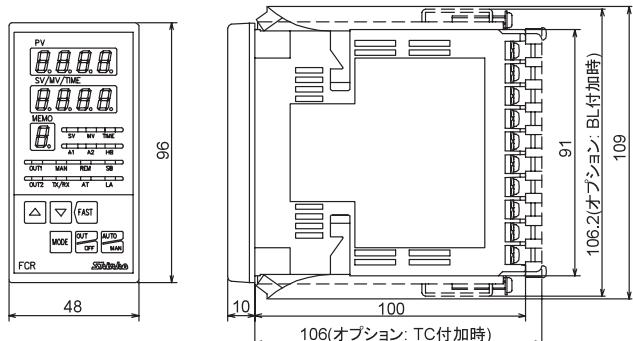
### ■ 推奨圧着端子について

下記のような、M3のねじに適合する絶縁スリーブ压着端子を使用してください。  
締付けトルクは0.63N・mを指定してください。

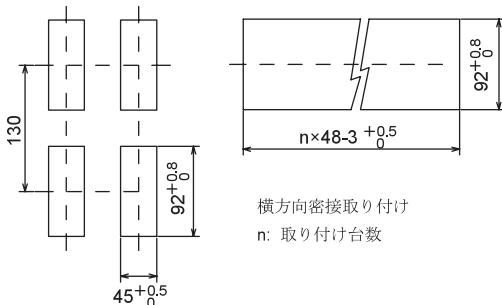
圧着端子	メーカー	形名	締付トルク
Y形	ニチフ端子	TMEV1.25Y-3	0.63N・m
	日本圧着端子	VD1.25-B3A	
丸形	ニチフ端子	TMEV1.25-3	0.63N・m
	日本圧着端子	V1.25-3	



## 外形寸法(単位: mm)

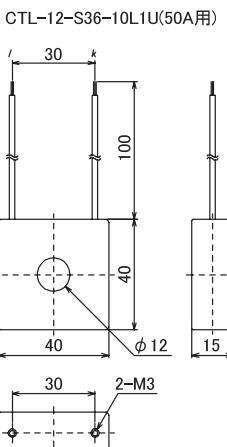
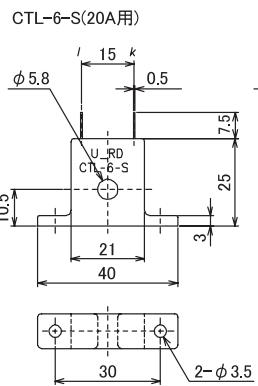


## パネルカット(単位: mm)

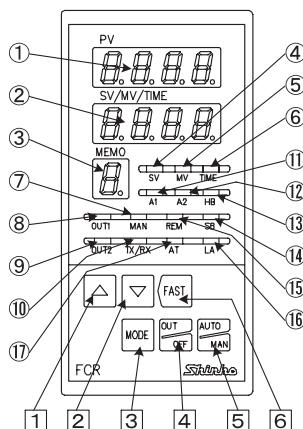


横方向密接取り付け  
n: 取り付け台数

## CT寸法(単位: mm)



## 各部の名称とはたらき



### [1] ▲ アップキー

設定モードの時、SV表示器の数値を増加させます。

### [2] ▼ ダウンキー

設定モードの時、SV表示器の数値を減少させます。

### [3] MODE モードキー

設定モードの切替えを行います。

### [4] OUT OFF OUT/OFF キー

制御出力のON/OFFを行います。

また、プログラム制御のスタート/ストップを行います。

### [5] AUTO/MAN オート/マニュアルキー

オート(自動)制御、マニュアル(手動)制御の切替えを行います。

### [6] FAST フーストキー

FASTキーと同時に▲キーまたは▼キーを押すことにより数値の送りを早くします。

### ① PV 表示器

現在値(PV)を赤色表示器に表示します。

### ② SV/MV/TIME 表示器

目標値(SV)、出力操作量(MV)または時間(TIME)を緑色表示器に表示します。

### ③ MEMO 表示器

設定値メモリ番号を黄色表示器に表示します。

### ④ SV 表示灯

SV表示器が目標値(SV)表示の時、緑色表示灯が点灯します。

### ⑤ MV 表示灯

SV表示器が操作量(MV)表示の時、赤色表示灯が点灯します。

### ⑥ TIME 表示灯

SV表示器が時間(TIME)表示の時、黄色表示灯が点灯します。

### ⑦ MAN 表示灯

マニュアル制御の時、赤色表示灯が点灯します。

### ⑧ OUT1 表示灯

制御出力(OUT1)がONの時、緑色表示灯が点灯します。

(直流電流出力形の場合、0.125秒周期で出力操作量に応じて点滅します。)

### ⑨ OUT2 表示灯(オプション)

制御出力(OUT2)がONの時、黄色表示灯が点灯します。

(直流電流出力形の場合、0.125秒周期で出力操作量に応じて点滅します。)

### ⑩ TX/RX 表示灯(オプション)

シリアル通信TX出力(送信)時、緑色表示灯が点灯します。

### ⑪ A1 表示灯(パターンエンド1出力を含む)

警報1出力(A1)またはパターンエンド1出力がONの時、赤色表示灯が点灯します。

### ⑫ A2 表示灯(パターンエンド2出力を含む)(オプション)

警報2出力(A2)またはパターンエンド2出力がONの時、赤色表示灯が点灯します。

### ⑬ HB 表示灯(オプション)

ヒータ断線警報出力がONの時、赤色表示灯が点灯します。

### ⑭ SB 表示灯

センサがバーンアウトした時、赤色表示灯が点灯します。

### ⑮ REM 表示灯(オプション)

リモート動作中、赤色表示灯が点灯します。

### ⑯ LA 表示灯(オプション)

ループ異常警報出力がONの時、赤色表示灯が点灯します。

### ⑰ AT 表示灯

オートチューニング実行中、黄色表示灯が点滅します。

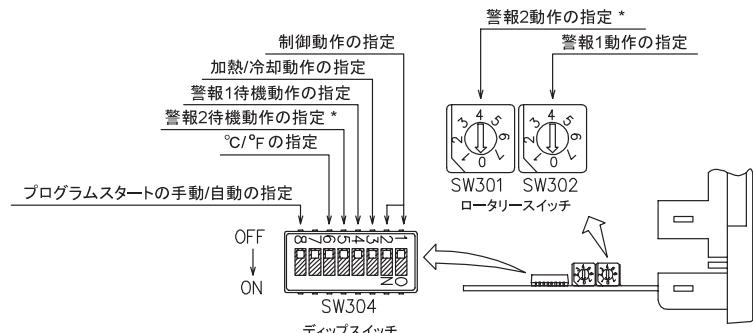
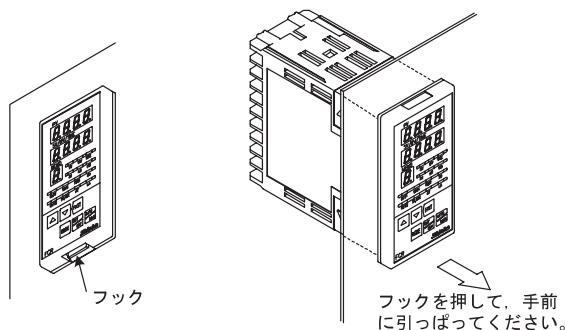
## 仕様設定について

FCR-13Aは、制御動作、警報動作等の仕様を変更することができます。

仕様変更は、FCR-13Aを通電する前に行ってください。

内器の引き出し方法は、計器下部のフックを押しながら、計器上下の凹部を持って手前に引き出してください。

[内部スイッチについて]



\*: [オプション: A2]を付加している場合のみ、スイッチは付加されています。

ディップスイッチ(SW304)を使い以下の変更ができます。

工場出荷時は、全てのスイッチNo.が[ OFF ]側にセットされています。

仕様設定項目	使用スイッチ No.	種類	スイッチの状態	
制御動作の指定	No. 1, No. 2	ファジィセルフチューニング PID動作	No. 1: OFF側	No. 2: OFF側
		PID動作	No. 1: ON側	No. 2: OFF側
		PD動作	No. 1: OFF側	No. 2: ON側
		ON/OFF動作	No. 1: ON側	No. 2: ON側
加熱(逆)/冷却(正)動作の指定	No. 3	加熱(逆)動作	No. 3: OFF側	
		冷却(正)動作	No. 3: ON側	
警報1(A1)待機動作の指定	No. 4	待機機能なし	No. 4: OFF側	
		待機機能付	No. 4: ON側	
警報2(A2)待機動作の指定 *	No. 5	待機機能なし	No. 5: OFF側	
		待機機能付	No. 5: ON側	
℃/Fの指定	No. 6	単位: ℃	No. 6: OFF側	
		単位: F	No. 6: ON側	
プログラムスタートの手動/自動の指定	No. 8	手動スタート	No. 8: OFF側	
		自動スタート	No. 8: ON側	

スイッチ No.7は未使用です。ON側にしても機能しません。

\*: [オプション: A2]が付加されていなければ、待機機能付に指定しても機能しません。

ロータリースイッチ(SW302), (SW301)を使い警報動作の変更ができます。

ロータリースイッチ(SW302): 警報1出力(A1)動作の変更スイッチ, ロータリースイッチ(SW301): 警報2出力(A2)動作の変更スイッチ

工場出荷時は, [警報1出力(A1):動作なし, 警報2出力(A2):動作なし]にセットされています。

警報1出力(A1)動作の種類	A1(SW302) ロータリースイッチ No.	警報2出力(A2)動作の種類 *	A2(SW301) ロータリースイッチ No.
動作なし	0	動作なし	0
上限動作	1	上限動作	1
下限動作	2	下限動作	2
上下限動作	3	上下限動作	3
上下限範囲動作	4	上下限範囲動作	4
絶対値上限動作	5	絶対値上限動作	5
絶対値下限動作	6	絶対値下限動作	6
パターンエンド1出力	7	パターンエンド2出力	7

\*: [オプション: A2]が付加されていなければ、ロータリースイッチ(SW301)は付加されていません。

## 運転

### キー操作の前に知りたいこと

- どのモードからでも **[OUT OFF]** を約1秒間押すことにより制御出力オフ機能がはたらきます。制御出力オフ機能がはたらくと、計器電源を切って再投入しても解除されず制御出力オフ機能がはたらいたままです。  
解除するには **[OUT OFF]** を1秒間押します。
- 設定値(数値)は、**[MODE]**キーを押すことにより登録します。  
また、どの設定項目からでも **[MODE]**キーを約3秒間押すと、PV/SV表示モードに戻ります。

・ PV/SV 表示モード、出力操作量表示、ステップ残時間表示に切り替える

PV/SV 表示モードの時、**[MODE]**キーを約3秒間押し続けます。

途中で主設定モードになりますが、**[MODE]**キーを押し続けると、出力操作量表示になります。

出力操作量表示の時に**[MODE]**キーを押すと、ステップ残時間表示になります。

再度**[MODE]**キーを押すと、PV/SV 表示モードに戻ります。

・停電復帰後の本器の状態

プログラム制御の実行中に停電し、復帰した場合、本器はプログラムの続きを実行します。(停電した時のステップが終了するまで、PV 表示器の値が点滅します。)

### 運転を開始する

#### 温度調節計として使用する場合

制御盤への取付け、配線が完了しましたら次の順序で運転を開始します。

##### (1) FCR-13A 電源ON

本器へ供給される電源をONにします。

電源投入後約2秒間、PV表示器に入力の種類と温度単位を表示し、SV表示器に定格最大値を表示します。

センサ入力	°C		F	
	PV表示器	SV表示器	PV表示器	SV表示器
RD-300 シリーズ、RD-401	122°C	500	122°F	1000

この間全ての出力、LED表示灯はOFF状態になります。

その後、PV表示器に現在値(PV)、SV表示器に目標値(SV)を表示して制御を始めます。  
(PV/SV 表示モード)

制御出力オフ機能がはたらいている場合、PV表示器に[制御出力オフ時表示選択]で選択した項目を表示します。

##### (2) 設定値の入力

操作フローチャートを参照して各設定値を入力してください。

ファジィセルフチューニングPID動作で制御する場合、立ち上がりの条件を良くするため、制御開始時AT実行/解除で実行を選択してください。

##### (3) 負荷回路の電源ON

負荷回路の電源をONにします。

制御対象を目標値(SV)に保つよう、調節動作を開始します。

#### 簡易プログラムコントローラとして使用する場合

##### (1) FCR-13A 電源ON

本器へ供給される電源をONにします。

電源投入後約2秒間、PV表示器に入力の種類と温度単位を表示し、SV表示器に定格最大値を表示します。(上表参照)

この間全ての出力、LED表示灯はOFF状態になります。

その後、PV表示器に現在値(PV)、SV表示器に目標値(SV)を表示して制御を始めます。(PV/SV 表示モード)

制御出力オフ機能がはたらいている場合、PV表示器に[制御出力オフ時表示選択]で選択した項目を表示します。

##### (2) 設定値の入力

操作フローチャートを参照して各設定値を入力してください。

[定值制御/プログラム制御選択]でプログラム制御を選択し、ステップ時間を入力してください。

PV表示器に現在値(PV)を表示し、運転待ち(スタンバイ)状態になります。

##### (3) 負荷回路の電源ON

負荷回路の電源をONにします。

##### (4) プログラム制御開始

###### ・プログラム制御を開始する

プログラムスタートの手動/自動の指定[ディップスイッチ(SW304)]で、手動スタートを指定した場合、**[OUT OFF]**キーを押すとステップ1よりプログラム制御を開始します。

プログラム制御実行中、ステップ番号(設定値メモリ番号)の変更は無効となります。

プログラムスタートの手動/自動の指定[ディップスイッチ(SW304)]で、自動スタートを指定した場合、電源投入後約2秒間、PV表示器に入力の種類と温度単位を、SV表示器に定格最大値を表示し(上表参照)、その後、自動的にステップ1よりプログラム制御を開始します。

###### ・プログラム制御を途中で終了する

**[OUT OFF]**キーを約1秒間以上押すと、プログラム制御を終了します。

### 制御出力オフ機能

・制御動作を一時停止したい時や複数台の内、使用しない本器の電源を切らずに制御出力をOFFにする機能で、PV表示器に **[OFF]** と表示します。

・どのモードからでも **[OUT OFF]**キーを約1秒間押すと、制御出力オフ機能がはたらき、[制御出力オフ時表示選択]で選択した表示になります。

再度 **[OUT OFF]**キーを約1秒間押すと、制御出力オフ機能を解除します。

・制御出力オフ機能がはたらくと、計器電源を切って再投入しても制御出力オフ機能は解除されません。

解除するには、**[OUT OFF]**キーを約1秒間押してください。

・プログラム制御の時は、**[OUT OFF]**キーがプログラムスタート/ストップのキーとなりますので、制御出力オフ機能ははたらきません。

### 出力操作量表示、ステップ残時間表示

#### 出力操作量表示

・ PV/SV 表示モードの時、**[MODE]**キーを約3秒間押し続けます。

途中で主設定モードになりますが、**[MODE]**キーを押し続けると、出力操作量表示になります。

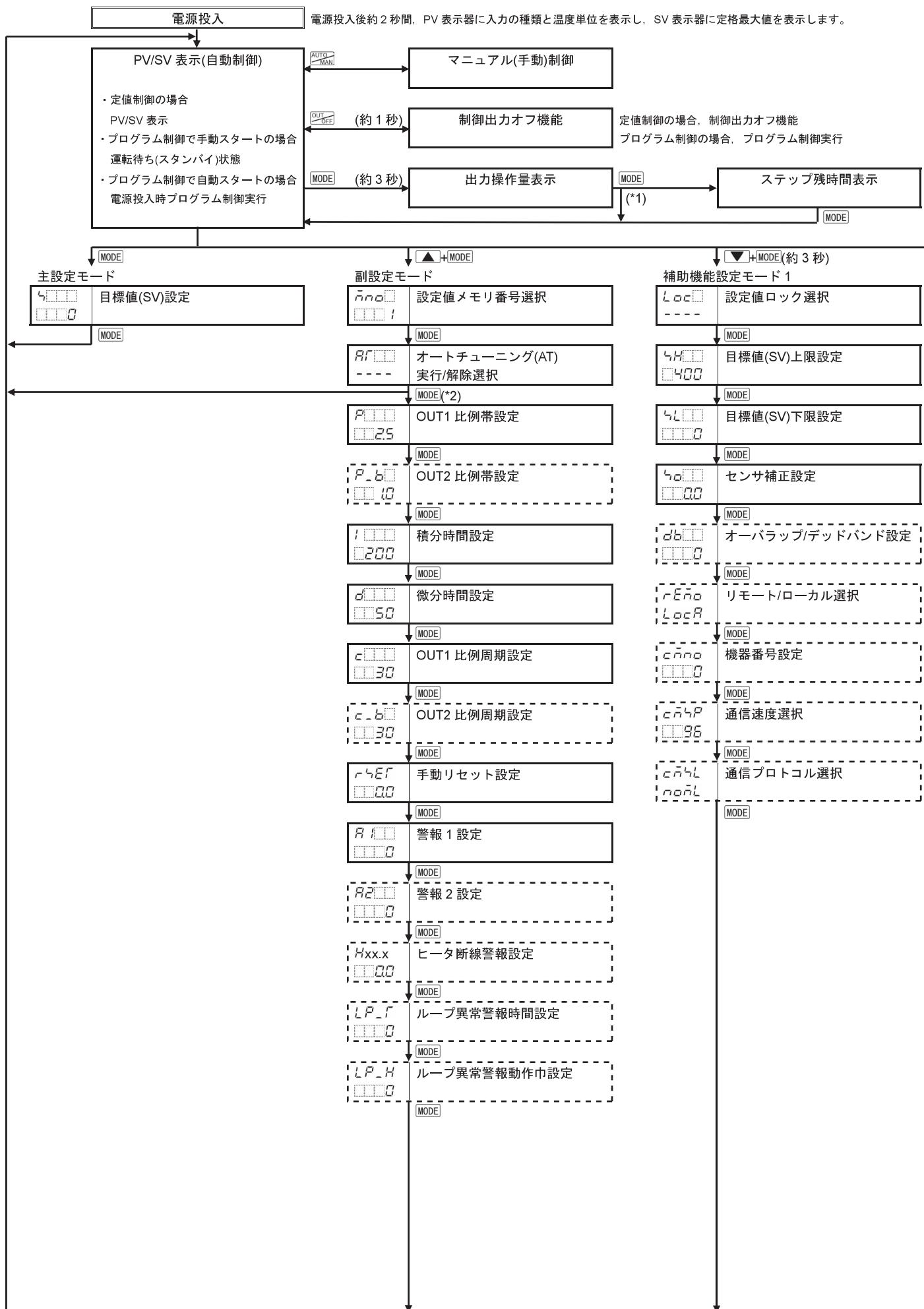
定値制御の場合、再度 **[MODE]**キーを押すと PV/SV 表示モードに戻ります。

#### ステップ残時間表示

プログラム制御の場合、出力操作量表示の時に**[MODE]**キーを押すと、ステップ残時間表示になります。

再度 **[MODE]**キーを押すと PV/SV 表示モードに戻ります。

## 操作フローチャート



## [キー操作について]

- ↓ MODE : MODEキーを押すと、矢印の項目に移行することを表しています。
- ↑ + MODE : ▲キーを押しながら、MODEキーを押すことを表しています。
- ↓ + MODE(約3秒) : ▼キーを押しながら、MODEキーを約3秒間押すことを表しています。
- ↑ + ↓ + MODE(約3秒) : ▲キーを押しながら、▼キー、MODEキーの順に約3秒間押すことを表しています。
- ↑ + ↓(約3秒) : ▲キーを押しながら、▼キーを約3秒間押すことを表しています。

## [設定項目について]

- 設定項目の PV 表示器(上段)は設定項目キャラクタを、SV 表示器(下段)は工場出荷初期値を表しています。
- 点線で囲っている設定項目は、オプションを付加した場合表示します。

(\*)1: 定值制御/プログラム制御選択でプログラム制御を選択した場合、ステップ残時間表示になります。定值制御を選択した場合、PV/SV 表示に戻ります。

(\*)2: オートチューニング(AT)実行/解除選択で実行を選択した場合、PV/SV 表示に戻ります。解除を選択した場合、OUT1 比例帯設定に移行します。

(\*)3: 定值制御/プログラム制御選択で定值制御を選択した場合、PV/SV 表示に戻ります。

